

**養成する人材像**

**人文社会科学研究科全体**

グローバル化や少子高齢化、情報化といった急激な社会の変化の中、労働市場や産業・就業構造の流動化によって将来予測が困難な時代を生き抜くために、高度専門職業人又は研究者として、「人間性」や「社会システム」の視点から、人間と社会が抱える複雑かつ多様な課題を学問的に分析できる能力及び創造的かつ実践的な解決策を提案し得る能力を身に付け、持続可能な社会の実現に貢献することができる人材を養成する。

**日本語日本文学専攻修士課程**

長い歴史をもつ日本文学や日本語に関する広範な知識及び本文読解能力を有し、日本の伝統文化の本質を明確に自覚・継承して後代や他者に伝えてゆく者として、あるいはメディアや実地調査等に基づいて現代の文学・言語に関わる諸問題を分析し、解決策を立案できる者として、学校教育、行政機関、企業、社会教育施設、出版及び国際交流の場等において、指導的な役割を担うことのできる人材を養成する。

**学位授与の方針（DP）**

- DP1【共通】：研究に従事する者として、法令を遵守し、高い倫理観を持って行動することができる
- DP2【共通】：高度な研究手法を身に付け、主体的に研究活動を行うことができる
- DP3【共通】：自らの研究成果を文章および口頭により、説得力ある言葉で他者に的確に説明することができる
- DP4【共通】：グローバルな視点や学際的な視点から現代社会に生起する諸課題を理解し分析することができる
- DP5【専攻】：日本文学や日本語に関する体系的な知識を有している
- DP6【専攻】：古今の文学作品の読解力や日本語運用能力を活かして、コミュニケーションやプレゼンテーションを適切かつ積極的に行うことができる
- DP7【専攻】：日本文学や日本語に関する専門知識を他者に正しく伝えることができる
- DP8【専攻】：現代社会が直面する日本文学や日本語に関わる諸問題を学問的かつ実証的に分析し、その解決策を立案・提示することができる

**教育課程編成・実施の方針（CP）要点<まとめ>**

**学位授与の方針（DP）**

教育課程編成・実施の方針（CP）要点<まとめ>			学位授与の方針（DP）
研究科共通科目	研究者基礎力養成科目群	研究を遂行する上で必要となる基礎力を身に付ける	DP1～DP3
	現代的課題科目群	現代社会に生起する多様な諸課題に関する学際的知識を身に付ける	DP4
	留学生支援科目群	外国人留学生の日本語による論文執筆能力を向上させる	DP3
	教職支援科目群	中等・高等教育現場における諸課題について思考する能力を身に付ける	DP4
専攻固有科目	総合科目 「日本語研究基礎」又は「日本文学研究基礎」、「日本語研究特論」又は「日本文学研究特論」	・論文作成の基礎的な知識を身に付ける ・専門教育の分野に関する最新の研究動向を踏まえた実践的研究方法を修得する	DP1・DP2
	専門科目 日本文学、漢文学、日本語学、日本語文化科目群※	高度な専門知識を身に付けることを目的とした科目を配置し、専門分野の特論や専門分野に隣接する分野の特論を中心に専門分野外の特論を選択履修することにより、多様な進路に役立つ能力を養う	DP5～DP8
	国語科教育、書道科教育科目群※	教員を目指して専修免許状の取得を目指す学生が、各教科の教育について包括的に学修する	DP7
	日本語教育科目群※	国際的視野に立って日本語を把握し、教える技術を身に付ける	DP7
	研究指導科目群	研究指導教員が、修士論文の作成に直結する指導を行い、学生は研究の成果物としての修士論文を完成する	DP1～DP4 DP5～DP8
	論文執筆指導科目群	研究指導教員以外の教員が副指導教員として、修士論文執筆のための補完指導を行い、学生は研究の成果物としての修士論文を完成する	DP1～DP4 DP5～DP8
修士論文、最終試験（口頭）		「中京大学大学院人文社会科学研究科修士学位申請及び審査に関する内規」に定める修士論文等の審査基準を満たしている	DP1～DP3 DP6～DP8

※特論Aは、各分野に関するこれまでの研究成果に学びつつ、今日の研究課題を発見する能力を養成し、特論Bは、個別の資料やテキスト、メディア、実地調査結果に基づいて、その意義や価値を正しく評価する能力を養成する。

**入学者受入れの方針（AP）**

- (知識・技能) AP1【共通】論理的な文章を作成する能力を有している
- (思考力・判断力・表現力) AP2【共通】一定の根拠に基づいて自らの判断で物事を考え、自らの意見を形成することができる
- AP3【共通】自らの問題意識を研究計画書等に整理してわかりやすく他者に伝えることができる
- (意欲・態度) AP4【共通】研究に真摯に取り組み、社会に貢献する志を有している
- AP5【共通】研究課題について、主体的に研究を遂行する意欲を有している
- AP6【共通】研究に携わる者として必要不可欠な倫理観を有している
- AP7【共通】専門領域に限定せず、現代社会に生起する諸現象、諸課題に深い関心を有している
- (知識・技能) AP8【専攻】研究する時代や分野を中心に、学士水準の日本文学や日本語に関する知識を有している
- AP9【専攻】日本文学や日本語の関係資料を読み解き、研究に活用するための知識や技能を身に付けている
- AP10【専攻】外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している
- AP11【専攻】社会人学生及び外国人留学生は、学士課程の低学年段階で修得すべき日本文学や日本語に関する基本的な知識を有している
- (思考力・判断力・表現力) AP12【専攻】日本文学や日本語の検討を可能にする分析力及び思考力を有している
- AP13【専攻】一般学生は、日本文学や日本語について問題意識を持ち、それを他者に説明する能力を有している
- AP14【専攻】社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会的経験を日本文学や日本語学に関連づけて思考し、日本文学や日本語学の分野における新たな問題を発見する能力を有している